

2012/10/15

日刊ゲンダイ

司法の存続の瀬戸際

田中慶秋法務大臣

「取り締まられる側に近かった慶秋が…」

一歩引く

その大物組長だけでなく、「複数の幹部と交遊があった」という証言もある。中でも、極めて懇密だったのが、田中が仲人を務めた人物だ。ヤクザというだけであ

一度関われば死ぬまで続くのがヤクザの世界

く、神奈川県1、2を争う規模の右翼団体の会長でもあった。十数年前、田中の地元で産廃処分場が問題を起こした。替せば力にならんと考えた右翼団体が乗り込むと、この幹部が仲介に出てきた。「このゴミの山は国会議員の田中慶秋の案件で、俺が面倒を見てから勘弁してくれ」と言うので手を引いた」と、右翼団体の

関係者が証言している。同じ頃、田中の女性問題に関する情報が出た際も、この幹部が回った際も、この幹部が出てきて「俺の媒酌人を埋める」のよも、法務大臣とはな。こんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク



「昔のこと」で済まされたい

「あんな言葉も紹介される側、に近かった慶秋が…」
「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」
「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」

「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」
「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」

「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」
「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」

SEX



「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」
「あんなのが法相？ 隔世の感がある。しかも、ブラックジョーク」